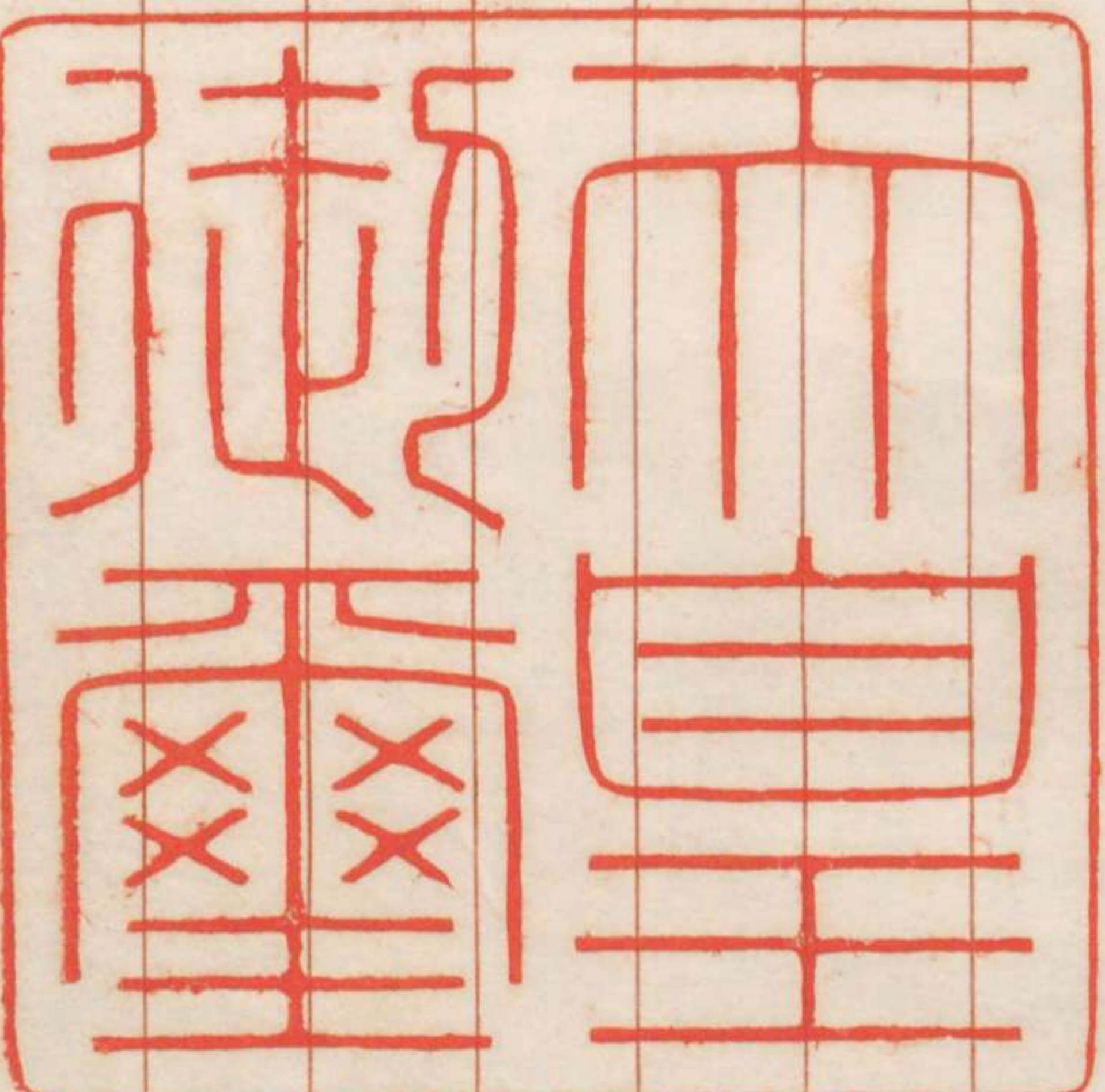


勅令第二十七號



朕陸軍各兵科現役士官補充條例制定ノ件  
ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

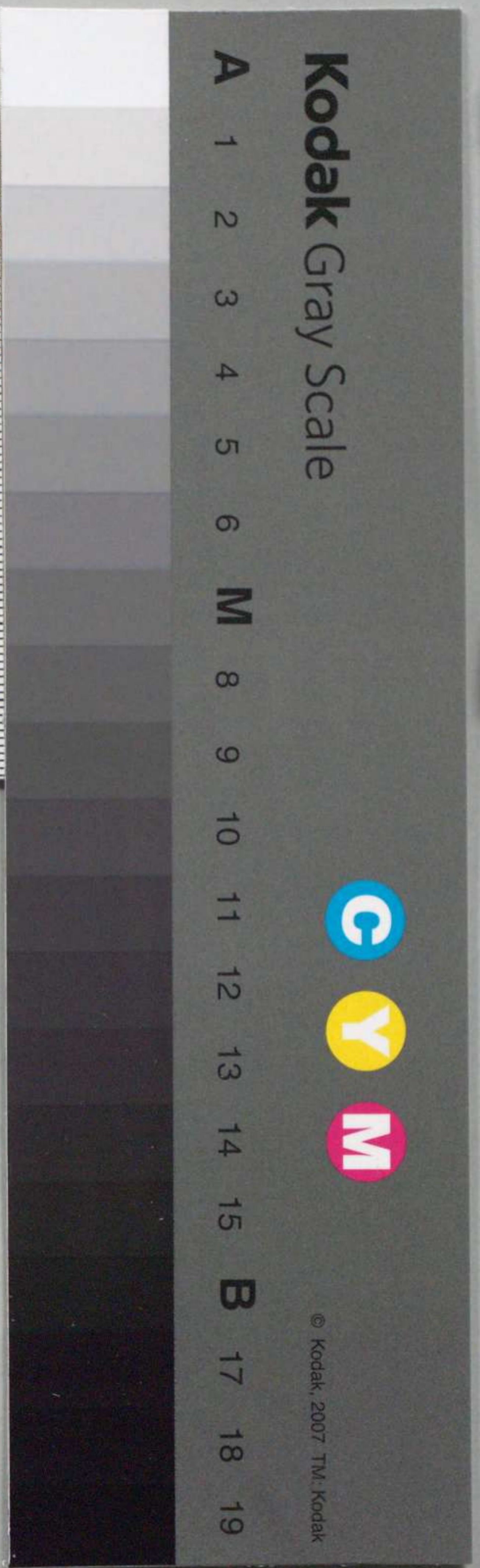
睦仁



明治三十年六月十九日

白

閣





内閣總理大臣伯爵伊藤博文  
陸軍大臣伯爵大山巖

勅令第二十七號

陸軍各兵科現役士官補充條例

第一條 陸軍歩騎砲工兵科現役士官ノ補充ハ陸軍出身志願ニシテ才能及學力ヲ有スル者ヲ選ニテ士官候補生トナシ各自ノ希望ニヨリ各種兵隊ニ配賦シ少クモ一箇年間特別ノ教育ヲ與ヘ然ル後士官學校ニ分遣シ卒業ノ上原隊ニ復歸セシメ見習士官トナシ六箇月以上士官勤務ニ服シタル者ヲ以テス但輜重兵科



士官ノ補充ハ他兵科ノ士官ヲ轉科セシ  
ム又憲兵科及屯田兵科士官ノ補充ハ別  
ニ定ムル所ノ規則ニ據ル

第二條 士官候補生ニ採用シ得可キ者ハ

左ノ如シ

其一 幼年學校生徒ニシテ教則卒業終  
末試験ニ及第セシ者

其二 一年志願兵又ハ其他ノ者年齢十  
八年以上二十三年以下ニシテ尋  
常中學卒業證書ヲ所持スル者又

ハ之ニ同シキ學力ヲ有スル者

第三條 士官候補生召募ノ検査格例ハ監  
軍之ヲ定メ毎年告達スルモノトス

第四條 幼年學校生徒ヲ士官候補生トナ  
スハ該校長其人名書ニ考科書ヲ添ヘ將  
校學校監ヲ經由シ監軍ニ進達ス監軍之  
ヲ軍事參議官ニ移ス

第五條 一年志願兵ノ士官候補生タラシ  
コトヲ志願スル者ハ願書ニ履歷書ヲ添  
ヘ尋常中學卒業證書ノ證書ヲ所持ス  
ル者ハ該證書ノ寫ヲ添ヘ

順序ヲ經



テ鎮臺司令官ニ差出シ司令官ハ各志願者ノ本籍府縣知事寄留ノ府縣知事ニ照會シ身分、財産、教育、性質、品行等ニ係ル詳細ノ證明書ヲ得之ヲ願書ニ添へ監軍ニ進達ス監軍之ヲ軍事參議官ニ移ス

第六條 華士族平民ノ士官候補生タラシ

コトヲ志願スル者ハ願書ニ履歷書ヲ添へ尋常中學卒業證書ノ寫ヲ添へ持ス本籍府縣知事寄留ノ府縣知事ニ差出シ府縣知事ハ各志願者ノ身分、財産、教育、性質、品行等詳

細之ヲ取調へ其證明書ヲ作り之ヲ願書ニ添へ其地所管鎮臺司令官ニ送付シ司令官ハ之ヲ監軍ニ進達ス監軍之ヲ軍事參議官ニ移ス

第七條 總テ尋常中學卒業證書ヲ所持セ

サル士官候補生志願者ハ本條例第六條ノ手續ヲナシタル後検査ヲ為ス其検査ハ試験委員ヲ各軍管ニ派遣シ行フモノニシテ試験委員ハ其成績ヲ將校學校監ニ上申シ學校監之ヲ監軍ニ進達ス監軍



之ヲ軍事參議官ニ移ス

第八條 軍事參議官ハ幼年學校生徒ハ本  
條例第四條其他ノ者ハ第五條及第六條  
ノ書類ニ依リ又第七條ニ依リ検査ヲナ  
シタル者ハ第五條若クハ第六條ノ書類  
ト検査ノ成績トニ依リ其士官候補生ニ  
採用スヘキ者ヲ裁定シ監軍ニ移ス監軍  
之ニ士官候補生ヲ命シ直ニ各種兵隊ニ  
配賦ス但候補生ハ本隊ノ定員外トス

第九條

前條士官候補生ヲ各種兵隊ニ配

賦スルニハ左ノ四項ヲ顧慮ス可シ

其一 本人ノ希望

其二 軍隊ノ必要

其三 學術優等ノ者ヲ各種兵隊ニ平等

ニ配賦スルコト

其四 砲工兵ニ配賦スルモノハ普通算

學ノ豫備學アル者

第十條

幼年學校生徒ヨリ士官候補生ト

ナス者ノ内學術品行共ニ優等ナル者ハ

軍隊ニ配賦スルトキ直ニ二等軍曹ニ任



スルコトアル可シ

第十一條 一年志願兵ニシテ士官候補生ヲ命スル者ハ本人所屬ノ兵隊ニ置ク但時宜ニ依リ他ノ隊ニ配賦スルコトアル可シ

第十二條 士官候補生ハ士官學校分遣前

一箇年<sup>幼年徒</sup>軍隊ニ在テ諸勤務<sup>雜役</sup>

<sup>除務</sup>クハニ服シ野外ノ演習ヲ終リ且下士ノ

勤務ヲモ識得スルヲ要ス

第十三條 士官候補生入隊ノ上ハ聯大隊

長ハ部下聯大隊中ノ其中隊ヲ撰ヒ之ニ編入シ該中隊長ヲシテ教育ヲ掌トリ諸勤務ノ訓練ニ任セシム

第十四條 士官候補生軍事學ノ教授ハ聯大隊長部下大尉若クハ中尉ノ内一名ヲシテ之ヲ任セシム

第十五條 聯大隊長ハ士官候補生ノ教育及軍事學教授ノ事ニ就テハ擔保ノ責ニ任ス

第十六條 士官候補生ハ志願兵トシテ入



隊ノ日ヨリ常備兵籍ニ編入シ陸軍一定ノ規則ニヨリ服役セシム而シテ被服裝具等ハ總テ下士兵卒同様ニシテ官給トス

第十七條 士官候補生ノ起居及其諸給與ハ本人ノ階級ニ應スルモノトス然レトモ其居室ハ一般兵卒ト混同スルコトナク別ニ一室ヲ與ヘ數名ノ候補生ヲ同居セシム可シ但被服ニハ特別ノ徽章ヲ附シ食事ハ將校會食所ニ於テ隊中將校ト

會食セシ

第十八條 一室ニハ室内其他諸物品

ノ掃除及馬具等掃除ノ為メニハ兵卒ヲ使役スルコトヲ得但馬具馬匹等ノ掃拭ヲ習得スルコトヲ得之ヲ為サシム

第十九條 士官候補生ハ生兵勤務ヲ終レ

ハ上等兵トナシテ入隊ノ日ヨリ起算シ幼生徒ハ八箇月ノ後ハ二等軍曹ニ全一箇年ヲ終レハ一等軍





隊ノ日ヨリ常備兵籍ニ編入シ陸軍一定ノ規則ニヨリ承役セシム而シテ被服裝具等ハ總テ下士兵卒同様ニシテ官給トス

第十七條 士官候補生ノ起居及其諸給與ハ本人ノ階級ニ應スルモノトス然レトモ其居室ハ一兵卒ト混同スルコトナク別ニ一室ヲ設ケ數名ノ候補生ヲ同居セシム可シハ特別ノ徽章ヲ附シ食事ハ

會食セシムルヲ要ス

第十八條 士官候補生ハ室内其他諸物品ノ掃除及馬具馬匹等掃拭ノ為メニハ兵卒ヲ使役スルコトヲ得但馬具馬匹等ノ掃拭ヲ習得スル爲メニハ自ラ之ヲ爲サシム

第十九條 士官候補生ハ生兵勤務ヲ終レハ上等兵トナシ而シテ入隊ノ日ヨリ起算シ<sub>幼</sub>年<sub>生</sub>徒<sub>ヨリ</sub>ス<sub>通</sub>算<sub>ス</sub>ハ<sub>八</sub>箇<sub>月</sub>ノ<sub>後</sub>ハ二等軍曹ニ全一箇年ヲ終レハ一等軍



曹ニ任スルコトヲ得

第二十條 士官候補生勤務中左ニ掲クル  
事項ニ該ル者ハ士官候補生ヲ免シ各階  
級ニ在テ定期ノ服役年限ヲ終ラシム然  
レトモ費用ヲ支辨スルコトヲ得ル者ハ  
本人ノ請願ニ依リ一年志願兵トナリ服  
役スルコトヲ許ス但服役計算ノ法ハ入  
隊ノ日ヨリ之ヲ起算ス  
其一 品行不正若クハ軍紀ヲ紊リ又ハ  
屢ニ法則ヲ犯ス者

其二 學力乏シクシテ士官生徒ニ適セ  
サル者

其三 將校タルノ才能ニ乏シキ者

其四 上官ヨリ認メラレテ士官候補生  
タルヲ得ヘカラサル者

第二十一條 前條ノ其一其二其三及其四  
ニ掲クル者アルトキハ聯「大隊」隊長ハ其事  
由ヲ悉シテ司令官歩兵旅團ニ上申シ  
司令官ハ状ヲ具シ監軍ニ進達ス監軍之  
ヲ軍事參議官ニ移シ參議官ノ裁定ニ依



リ監軍之ヲ處分ス

第二十二條 士官學校生徒ニシテ卒業ノ目途ナク退校歸隊セシ者及將校試験ヲ受クルヲ得スシテ歸隊セシ者ハ本條例第二十條及第二十一條ニ準シテ之ヲ處分ス

第二十三條 士官候補生諸勤務ノ訓練ヲ終レハ之ニ任スル所ノ中隊長ハ士官候補生定規ノ如ク諸勤務ニ習熟スル保證書ヲ聯大隊長ニ進達スヘシ聯大隊長ハ之ヲ審閲シ更ニ教育及軍事學ノ教授ヲ

受ケタルコトヲ保證シ鎮臺司令官歩兵

團長ヲニ上申ス又聯大隊長ニ於テ前條ニ

依リ處分セラレタル者ニシテ再ヒ入校ヲ命セラル、ヲ適當ナリト認ムル者アルトキハ之ト同時ニ其事由ヲ上申ス可シ

第二十四條 鎮臺司令官ハ更ニ各兵科ノ連名簿ヲ製シ之ニ聯大隊長ヨリ出ス所ノ保證書ヲ添へ將校學校監ニ送付ス可シ

第二十五條 將校學校監ハ前條ノ書類ニ依リ士官候補生ノ士官學校ニ入校セシ



ムヘキ者ヲ定メ鎮臺司令官ヲ經テ之ヲ  
命ス可シ

第二十六條 士官候補生士官學校修學ヲ  
終リ將校試験ニ及第シ歸隊セシ者ハ見  
習士官トナシ中隊ニ在テ士官勤務ニ服  
セシム而シテ其位置ハ定員外ニシテ曹  
長ノ上位トス

第二十七條 見習士官ノ教育ハ聯「大隊長  
自ラ其責ニ任シ殊ニ諸種ノ演習等精密  
且著實ニ實施セシメ以テ學事上ノ教育

ヲ進歩セシムルヲ務ム可シ

第二十八條 見習士官ノ諸給與ハ隊附曹  
長ト異ナルコトナシト雖トモ劍劍緒帶  
革背囊脚絆等ハ士官ト同一トス

第二十九條 見習士官ヲ將校ニ選舉スル  
ハ聯「大隊長先ツ大隊長及中隊長ヨリ本  
人ノ學事上及軍事上ノ教育完全ニシテ  
將校タルヲ得ヘキ保證書ヲ得尚ホ聯「大  
隊長モ亦自ラ是認シタル後始メテ聯「大  
隊ノ將校會議ニ付ス



第三十條 將校會議ハ見習士官ヲ將校ト  
ナスノ可否ヲ議決スル所トス故ニ各將  
校ハ可否ノ答ヲ自ラ選舉報告ニ記入シ  
自己ノ姓名ヲ署ス可シ

第三十一條 將校會議ニ於テ將校ノ答皆  
可ナルトキハ其選舉報告書ヲ添ヘ少尉  
ニ補任ノコトヲ鎮臺司令官ニ上申ス司  
令官ハ監軍ニ進達シ監軍之ヲ軍事參議  
官ニ移ス

若シ答多數可ナルモ幾分ノ否答アル者

ハ其理由ヲ選舉報告書ニ記入シテ上申  
スルコト前項ニ同シ

之ニ及シ將校ノ答多數否ナルトキハ否  
決ノ報告書ヲ鎮臺司令官ニ上申シ司令  
官ハ之ヲ監軍ニ進達シ監軍之ヲ軍事參  
議官ニ移シ參議官ハ其報告書ニ依リ見  
習士官タルノ分限ヲ除クコトヲ裁定シ  
監軍ニ移ス監軍之ヲ處分ス但此處分ヲ  
受ケタル者ハ曹長ニ任シ豫備役ニ編入  
ス



第三十二條

士官學校ニ於テ品行方正將校試験ノ成績最モ優等ニシテ褒賞ヲ賜リタル者ハ補任ノトキ其首位ヲ與フ

第三十三條

砲工兵科少尉ハ少クモ二箇年間軍隊ニ在テ實地勤務及軍紀ニ習熟シタル後特別ノ學校ニ於テ特科ノ學術ヲ學ハシム

第三十四條

陸軍各兵科下士及兵卒一年志願サ兵ニアラハ當分ノ内特例ヲ以テ士官候補生ヲ志願セシムルコトヲ得但其手續

ハ本條例中一年志願兵ノ例ニ準ス



